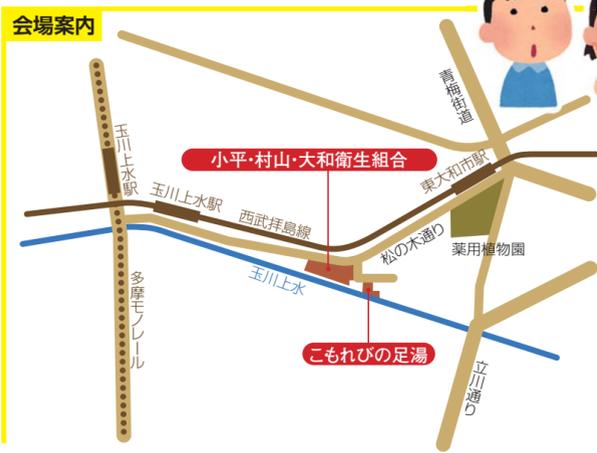


第13回 つなげよう資源の輪 広げよう地域の和

えんとつフェスティバル2015



10/10±
午前10時～午後3時
雨天の場合、11日(日)に順延。
11日も雨天の場合は中止

フリーマーケット(約40店舗)
清掃工場ミニツアー(見学会)
参加型イベント(クイズラリー等)
模擬店(焼きそば、わたあめ、飲み物等)
ステージ(和太鼓、よさこいなど)
参加団体等のブース その他

※内容は都合により変更することがあります。
主管:えんとつフェスティバル実行委員会
主催:連絡協議会、小平・村山・大和衛生組合
後援:小平市、東大和市、武蔵村山市

会場案内図(小平・村山・大和衛生組合)



発行 小平・村山・大和衛生組合
187-0033 小平市中島町2番1号
電話 042-334-1143 345
平成27年9月発行

編集後記

このお出し方には、ルールがあり、皆さんはお住まいの市のルールを守ってごみを出していただいていると思います。私は先月、自宅に帰った際に父親が川沿いにある道路の脇に自転車を止めておいたのを見て、どうしてここに自転車を止めたのかと疑問に思いました。自転車を止めたのは、お金の払いたくない人が捨てたものか、と思ったのですが、身勝手な行動で捨てられた場所の近隣の住民が、処分方法を確認しなければいけません。確かに、ごみを捨てるのはお金は払いたくないという気持ちにはわかるのですが、ごみはきちんとルールに従って処分する必要があります。ルールには、ルールというものは、実はごみ拾いで見つけた自転車を、バス停にある自治会の方の私物に見つかりました。近所の学生さんがバス停まで自転車で来て、私に地上に勝手に自転車を止めていると、私に話して、自転車を警告の張り紙をやることにしましたが、これで自転車をやるめてもらえたらいいなと思います。

私はこの4月から小平・村山・大和衛生組合で働かせていただいています。この仕事は、組合員の方々の生活に直接関係しています。毎週2千人以上の方が見学に来て、ごみ処理の現場を見ていただくのが、私にとっての醍醐味です。ごみ処理の現場は、生活が豊かになっても、大切なものは、ひとりで豊かに生きていくことが、生活が豊かになることではないか、という現代で、地球の資源が限られていく中で、ごみのルールを守っていただくことが、ごみ処理の現場を通して、ぜひともお願いしたいと思っています。

VOICE

編集後記

このお出し方には、ルールがあり、皆さんはお住まいの市のルールを守ってごみを出していただいていると思います。私は先月、自宅に帰った際に父親が川沿いにある道路の脇に自転車を止めておいたのを見て、どうしてここに自転車を止めたのかと疑問に思いました。自転車を止めたのは、お金の払いたくない人が捨てたものか、と思ったのですが、身勝手な行動で捨てられた場所の近隣の住民が、処分方法を確認しなければいけません。確かに、ごみを捨てるのはお金は払いたくないという気持ちにはわかるのですが、ごみはきちんとルールに従って処分する必要があります。ルールには、ルールというものは、実はごみ拾いで見つけた自転車を、バス停にある自治会の方の私物に見つかりました。近所の学生さんがバス停まで自転車で来て、私に地上に勝手に自転車を止めていると、私に話して、自転車を警告の張り紙をやることにしましたが、これで自転車をやるめてもらえたらいいなと思います。

私はこの4月から小平・村山・大和衛生組合で働かせていただいています。この仕事は、組合員の方々の生活に直接関係しています。毎週2千人以上の方が見学に来て、ごみ処理の現場を見ていただくのが、私にとっての醍醐味です。ごみ処理の現場は、生活が豊かになっても、大切なものは、ひとりで豊かに生きていくことが、生活が豊かになることではないか、という現代で、地球の資源が限られていく中で、ごみのルールを守っていただくことが、ごみ処理の現場を通して、ぜひともお願いしたいと思っています。

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No. 39

10/10±

えんとつフェスティバル 2015開催

小平・村山・大和衛生組合は、3市の
ごみを処理している清掃工場です。



- 《No.39主な内容》
- ・3市共同資源化事業を進めています
 - ・衛生組合議会の動き
 - ・各種測定結果について



小平市、東大和市、武蔵村山市及び小平・村山・大和衛生組合では、3市共同資源化事業を進めています

1 3市共同資源化事業について

小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市では、今後更なる廃棄物の減量とリサイクルを進めるうえでの課題として、処理施設の老朽化や処理能力の限界などがあり、これらの課題解決に向けて、3市と小平・村山・大和衛生組合の4団体で3市共同資源化事業を進めています。この事業は、平成15年度から進めている事業ですが、ごみ焼却施設の更新を視野に入れ、ソフト面ではごみの減量施策や3市の資源化基準の統一など、ハード面では3市共同資源物処理施設及び不燃・粗大ごみ処理施設について、3市共同資源物処理施設整備用地(現東大和市暫定リサイクル施設用地：東大和市桜が丘2丁目122-2)と現小平市清掃事務所用地を活用して建設する事業です。

(1)循環型社会形成推進交付金が内示されました

循環型社会形成推進交付金は、市町村が、廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を総合的に推進するため、広域のかつ総合的に廃棄物処理・リサイクル施設整備を循環型社会形成推進地域計画として策定し、計画に位置付けられた施設整備に交付されるものです。本年4月に、国(環境省)から交付金の内示が示されましたが、今回の内示は、施設整備に関する計画支援事業(3市共同資源物処理施設整備実施計画及び不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画)について示されたものです。

(2)3市共同資源物処理施設整備実施計画を策定します

3市共同資源物処理施設整備実施計画は、プラスチック製容器包装及びペットボトルの2品目の処理を行う資源物処理施設の基本設計と施設の設置に係る事務着手から施設しゅん工・引き渡しまでの手続きを取りまとめたもので、平成27年度中に策定します。この実施計画では、施設の配置、設備機器の仕様等の基本設計、設計スケジュール、調査や届出等の事務手続き等、施設整備に必要な全ての事務等を網羅して明確化し、調査項目の取りまとめを行います。なお、調査項目は、以下のとおりです。

調査項目				
①測量調査	②地質調査	③地歴調査・土壌調査	④脱臭及びVOC除去設備の性能比較調査	⑤施設基本設計
⑥見積仕様書等の作成	⑦設計協議	⑧費用対効果分析	⑨都市計画決定図書作成	⑩住民説明会開催支援

(3)不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画を策定します

不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画は、施設の基本設計と施設の設置に係る事務着手からしゅん工引き渡しまでの手続きを取りまとめたもので、平成27年度中に策定します。施設の規模については、プラスチックの資源化の推進等により、現状の75t/日から38t/日程度に抑制できる見込みとなっており、現小平市清掃事務所用地を活用して、平成30年度～31年度に建設する予定です。なお、基本計画の内容は、以下のとおりです。

基本計画の内容			
①測量及び地質調査	②施設整備基本計画の策定	③設計協議	④施設搬入路改修計画
⑤既存施設の解体・撤去計画	⑥費用対効果分析	⑦住民説明会開催の支援	



(4)3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会について

3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会は、東大和市桜が丘2丁目122-2に共同設置を合意した3市共同資源物処理施設の建設に關し、3市及び組合と地域住民が地域の良好な環境の維持、向上及び安全の確保を図ることを目的として設置したものです。周辺地域の自治会及び管理組合の代表者及び専任者等で構成されており、原則1ヶ月に1回会議を開催しています。平成27年9月現在、18回開催されており、会議内容等については、組合ホームページ等に掲載しています。今後も、4団体では、地域の皆様の事業への理解を深めていただけるように努めてまいります。

2 3市共同資源物処理施設整備用地周辺の生活環境影響調査について(結果)

3市共同資源物処理施設の設置に当たっては、計画の段階でその施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響をあらかじめ調査する。生活環境影響調査を3市共同資源物処理施設整備用地周辺(東大和市桜が丘2丁目122-2)において実施しています。今回、春季(5月)の調査結果がまとまりましたので報告します。なお、調査は、今年度から平成28年度まで実施します。

(1)調査内容

今回の調査は、大気質について、現状における大気質及び気象の状況を、以下のとおり調査しました。

調査事項	調査期間	調査地点※	調査項目	調査方法
大気質	平成27年5月21日(木)～28日(木)	・5地点(No1事業用地入口) ・(No2事業用地内建物屋上) ・(No3事業用地東側) ・(No4事業用地南側) ・(No5事業用地北側)	・総揮発性有機化合物(T-VOC) ・揮発性有機化合物(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)	「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」(平成23年3月、環境省・大気環境局大気環境課)に準じた方法。
		・1地点(事業用地入口)	・風向、風速、気温、湿度	地上気象観測指針(平成14年3月、気象庁)に準じた方法。

※調査地点図については、組合ホームページをご参照ください。

(2)調査結果

調査期間中の平均値は表に示すとおりです。「ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準」(平成9年2月4日環告4号)は1年平均値であり、今回の調査結果は春季のみの結果のため環境基準の適合状況については評価できませんが、参考として比較すると、全調査地点の揮発性有機化合物において、環境基準を下回っていました。なお、調査日別の調査結果については、組合ホームページをご参照ください。

表 大気質調査結果(期間平均値) (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査項目	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	環境基準※	
総揮発性有機化合物(T-VOC)	38	38	39	40	35	-	
揮発性有機化合物	ベンゼン	0.87	0.8	0.9	0.83	0.83	3
	トリクロロエチレン	0.48	0.48	0.5	0.47	0.47	200
	テトラクロロエチレン	0.16	0.16	0.2	0.16	0.16	200
	ジクロロメタン	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	150

※環境基準は、1年平均値であるため、参考として比較した。

次に、風向・風速の調査結果は、表2、気温・湿度の調査結果は表3のとおりです。調査期間中は南南東の風が卓越しており、平均風速は1.7m/sでした。また、調査期間中の平均気温は21.0℃、平均湿度は59%でした。

表2 風向・風速調査結果

項目	月日		調査期間全体
	最多風向	SSE	
風向	最多風向	SSE	
風速(m/s)	平均値	1.7	
	最大値	4.9	

表3 気温・湿度調査結果

項目	月日		調査期間全体
	平均値	21.0	
気温(℃)	平均値	21.0	
	最高値	31.4	
	最低値	11.7	
湿度(%)	平均値	59	
	最小値	27	

ダイオキシン類の測定結果

環境大気
衛生組合では、立川市清掃工場と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類濃度の測定を、夏季と冬季の年2回実施しています。平成26年度冬季分は、平成27年2月5日から2月12日の間、連続で試料を採取しました。

(単位: pg-T-EQ/m³)

測定地点	大気環境基準	測定結果		
		平成26年度(冬季分)	(参考)平成25年度(冬季分)	
衛生組合測定	0.6以下	東大和市立第二小学校	0.022	0.011
		小平市立中島地域センター	0.020	0.0087
		小平市立上水新町地域センター	0.020	0.0081
立川市清掃工場測定	0.6以下	立川市立けやき台小学校	0.013	0.014
		立川市立立川第四中学校	0.011	0.0092
		立川市立若葉小学校	0.012	0.014
		立川市若葉児童館	0.014	0.012

(注) 大気環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく、大気の汚染に係る環境基準です。

焼却灰等の放射性物質濃度及び空間放射線量の測定結果

衛生組合では、「主灰、飛灰、排ガス」の放射性物質濃度と敷地境界「東西南北4カ所」における空間放射線量の測定を定期的に行っています。測定結果は、ホームページでもご覧になれます。

■放射性物質濃度測定結果 (単位: 主灰・飛灰: Bq/Kg、排ガス: Bq/m³)

採取日	主灰※1	飛灰※2	排ガス
平成27年3月16日	13	122	不検出(採取日3月16日)
平成27年4月14日	33	165	不検出(採取日4月14日)
平成27年5月14日	15	193	不検出(採取日5月14日)
平成27年6月15日	24	198	不検出(採取日6月15日)
平成27年7月15日	47	168	不検出(採取日7月15日)
平成27年8月14日	28	147	不検出(採取日8月14日)

※1 主灰は、焼却炉の灰出設備から排出される灰
 ※2 飛灰は、焼却炉の集じん器(バグフィルター)で捕集された灰
 (注) 主灰・飛灰の数値は、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」の合計値。
 (国が示す埋立処分を可能とする放射性物質の暫定基準値は、8,000Bq/Kg以下)
 排ガスは、「放射性セシウム134」「放射性セシウム137」のいずれも不検出

■空間放射線量 測定結果(地上高さ1m、5回測定の平均値) (単位: $\mu\text{Sv}/\text{h}$)

測定日	東	西	南	北	衛生組合東側樹林(バックグラウンド)
平成27年3月16日	0.073	0.066	0.051	0.069	0.043
平成27年4月15日	0.061	0.065	0.046	0.065	0.044
平成27年5月15日	0.073	0.061	0.048	0.071	0.046
平成27年6月16日	0.069	0.063	0.051	0.067	0.036
平成27年7月15日	0.067	0.062	0.050	0.065	0.039
平成27年8月14日	0.065	0.061	0.054	0.061	0.041

小平・村山・大和衛生組合議会の動き

組合議会の定例会は年に2回(2月、11月)開催され、臨時会は必要に応じて開催されます。最近では、5月に臨時会が開催されました。また、7月には他市のごみ処理施設を視察しました。

○組合副管理者、監査委員(議員選出)の選任

5月臨時会において、組合副管理者に尾崎保夫氏(東大和市長)が選任されました。また、監査委員(議員選出)には須藤博氏が6月1日付で選任同意されました。

○組合議員の改選

組合議会は、小平市、東大和市、武蔵村山市の各市議会からそれぞれ4名ずつ選出された議員計12名で構成されています。このたび、3市の議員改選により新たに組合議員が選出されました。また、5月臨時会において、議長に関田貢議員(東大和市議会選出)、副議長に比留間朝幸議員(武蔵村山市議会選出)が選出されました。

平成27年5月臨時会 平成27年5月29日(金)開催

議案番号	内容	結果
議案第8号	小平・村山・大和衛生組合副管理者の選任	選任
議案第9号	小平・村山・大和衛生組合監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第9号	専決処分(小平・村山・大和衛生組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例)の承認を求めることについて	承認
	議員の派遣について	原案可決

○特別職の紹介

当組合の平成27年6月1日現在の特別職は、次のとおりです。 <敬称略>

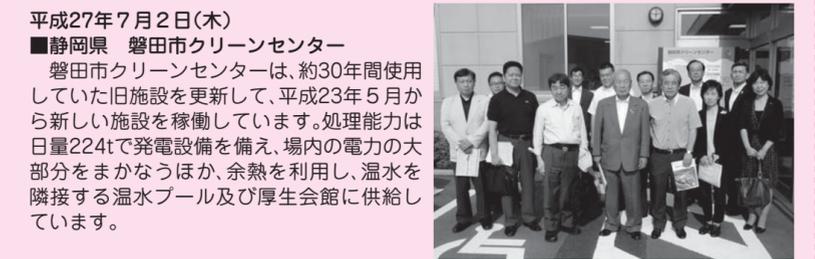
管理者	小林 正 剛(小平市長)
副管理者	尾崎 保 夫(東大和市長) 藤野 勝(武蔵村山市長)
助 役	山下 俊 之(小平市副市長)
監査委員	舛川 博 昭(代表監査委員・識見を有する者) 尾崎 実 須藤 博(議員選出)(識見を有する者)

議会議員 <敬称略>

小平市議会選出	東大和市議会選出	武蔵村山市議会選出
佐藤 充	尾崎 利 一	内野 直 樹
井 井 ようこ	関 田 貢【議長】	遠 藤 政 雄
平野 ひろみ	中 野 志 乃 夫	須 藤 博
幸 田 昌 之	中 間 建 二	比留間 朝 幸【副議長】

○視察の報告

衛生組合では老朽化した粗大ごみ処理施設の更新が喫緊の課題となっています。また長期的な課題としての焼却施設の更新もあります。そこで今回の行政視察では、最近更新が行われた施設を視察し、建設計画や稼働後の施設運営などを中心に調査しました。



平成27年7月2日(木)
 ■静岡県 磐田市クリーンセンター
 磐田市クリーンセンターは、約30年間使用していた旧施設を更新して、平成23年5月から新しい施設を稼働しています。処理能力は日量224tで発電設備を備え、場内の電力の大部分をまかなうほか、余熱を利用し、温水を隣接する温水プール及び厚生会館に供給しています。

平成27年7月3日(金)
 ■神奈川県 平塚市環境事業センター
 平塚市環境事業センターは、旧施設の老朽化やごみ質の変化へ対応し、環境への負荷の低減を図るため、平成25年10月から稼働しています。

環境事業センターは、高効率ごみ発電施設として、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、適正処理・処分の確保を達成することによって、循環型社会の実現に貢献すべき施設として、「安心・安全な処理体制の確保」、「低炭素社会実現への貢献」、「焼却残渣の有効利用・最終処分量の低減」、「環境教育への貢献」、「効率性の確保」、「周辺環境・周辺地域への配慮」といったコンセプトを掲げ、運営を行っています。